

と方法とを考へなければならぬもので有つて、随分世間には天性善良の兒供で然も身體の壯健なりし者が、前の様な八ヶ間敷き神經質の母親に養けられたため、品性の不良に變化したるのみならず身體も非常なる病身となつて成長の後社會の活動場裏には到底仲間入りの出来ない様な片輪者とするところがある、是れ皆其母親たるもの、鑒け方を善悪如何に因るものであるから、大いなる注意を拂つて其兒供に望まねばならぬものである。

世の進歩すると同時に其母親の心掛も亦それと進まねばならぬ。世間では千萬金の財産を遺すの唯一の願と考へて居るものもあるが、眞の遺産は千萬と數へて得可き物質的の財産ではなくて立派な兒供を社會に遺すことである。貴婦人や虚榮の強い凡ての人は互に立派の衣装高價な指輪時計等の競争に熱中して居るが是れは母親としての務から謂へば末の末である。第一の競争は立派な兒供を育てる事である。母たるものは世の進歩するものであることを常に心に忘れず従つて兒供は自分より進歩したるものに育てねばならぬと云ふこ

とを深く念頭に置かねばならぬ。これが母親の責任であると同時に母親に採つて第一の慰安である。

### 三越呉服店 玩具展覽會を

## 観る

白山生

去月一日より三越呉服店內に開催せられたる玩具展覽會は近來に珍らしく教育的なる展覽會であつた。我輩も忙間を踏みて一日之を參觀して種々な利益を得た。因つて其感想の概要を他方の會員に御報告申すとしやう。

さて此展覽會は大體二部に別れて居つて一部は展覽會(同時に即賣もする)と一部は參考部となつて居る。先づ展覽部の方から見やうと思つて入口を入つたのが去月中旬火曜日の午前九時頃であつた。入口を入つて左に折れて二階への階段を中途

送昇り更に向ふへ下りて展覽場に入つて見るとあるはく、目も眩むばかりに美しき品々面白き數々、ズラリと並んで嬢ちやんや坊ちやんの御光來を待つて居る。

ゼンマイ仕掛の自働玩具や、ならべて遊ぶ農村の模型を始めとして、人形、まゝごと道具、電車汽車など何れも舶來の逸品が揃つて居つた。中にも西洋間の飾り立てたる所などは實に美事なものであるが同時に其價の何れも美事なことにも驚いた。ポツ／＼流行の兆ある飛行器もあつたがあまりよいのは見えなかつた。要するに展覽場の玩具は主として輸入品で價が何れも高いものであつた。記者の目に止まつた所では最低價のものでも五十錢多くは壹貳圓以上で間々二十圓三十圓の高價のもの見えた。茲を出て三階なる参考部に行つて見ると茲には諸所より出品せられた参考品がある。古い昔の玩具もあれば遠き國々の人形もある。成る程玩具も廣いものだと感じられた。次に兒童の年齢別に分類せられた表があつた。大體は皆て本誌に載せたことのある大津幼稚園の

調査に多少の加除をした様なものと思へば間違いない。左に記するは其分類と注意書きとである。参考の爲めに

▲嬰兒前期(生後一年)

▲仰臥時期(受動的見聞期、風車、風船、でん／＼太鼓、笥の笛、旗(紙製) ▲安座期(發動的把持期)おし／＼木又は象牙)ゴム人形、ゴム鐘、がらん／＼(セルロイド製)犬鳩猫等(ゴム又は磁器) ▲起立歩行期(發動的把持期作用)旗布製)太鼓、笛(竹又は木)ラッパ(木製口金又は象牙)不倒翁(木製)馬猿兎鶴等(磁器ゴム又は布製)

▲嬰兒後期(一年乃至三年)

▲前期終の物 玉乗人形、毛人形、負ひ袋(布に綿を入れて製したる物)金魚鯛蛙等(磁器又はゴム製)、鳥笛、器械の龜の子、器械操、米搗車、桃太郎、天神、遠慮等  
注意 (一)此時期の兒童は致日本能盛なれば玩具の消毒に注意せざる可からず (二)紙むる爲めに顔料の剥落するもの不可なり (三)此時期の玩具は成る可く木ゴム或は布に綿を入れたるものを用ふべし、但し破壊し難き磁器は消毒に便なれば用ひて可なり。

▲幼兒期

▲幼兒前期(三年乃至七年)動物及び人物齒、動物標本、春駒、器械の蝶、風船、毬(ゴム製)風、獨樂、繪本、眼鏡(色眼鏡、蟲眼鏡、萬花鏡の類)張子の面、龍吐水、舟、車、コロツア銃刀、サーベル、燈木、組立人形、あれ機、お手だま、おぼしき、きしやこ、まゝ事道具 ▲幼兒後時(七年乃至十年)竹とんぼ、

豆鐵砲、空氣銃、鐘槍、劍玉、羽子板、器械にて活動する動物、器械にて活動する船車類、磁器を應用せる玩具、ハーモニカ、手風琴、輪(竹又は鐵)、繩、繩飛に用ふ、輪合せ、武者繪、人形、千代紙

注意 プリキ硝子等にて作れる玩具は破壊し易く危険なれば成るべく之を避くべし(二)時季に由りて與ふる玩具を變化せざる可からず(三)賭博に類する物及び凡て偶然の機會によりて争ふものは如何に之を改良するも教育的價值に乏し双六當物の類是なり(四)兒童が自己心身の能力に由りて處置し練習に由りて上達するものを可とす(五)成るべく兒童自ら運動して遊ましからず(六)玩具の整備は兒童自らなして爲さしむべし、七一般に破壊し易きものは不可なり簡單にして變化し運動し前か堅牢にして危険ならざるものを可とす(八)破壊して遊ぶものよりも組織して遊ぶものを可としガラ／＼煎餅の如きは教育上好ましからず(九)會年以上の玩具は理化學を應用せるもの運動具を選ぶ可とし(十)少年以上に在りては材料を與へて自ら構成工夫せしむべし。

次に特に代表的玩具に因りて玩具の教育的價值を分類的に示されたるは參觀せる父兄に採りて利益ありしことと見られぬ。其種類は左の十四種であつた。

感覺即ち觸覺養成、視覺養成、聽覺養成、筋肉養成、智力即ち觀察力養成、好奇心養成、記憶力養成、想像力養成、推理力養成及び感情意思即ち同情養成、愛情養成、注意力養成、消極意志即ち忍耐慎重養成、積極意思即ち實行勇氣養成

次に玩具の分類を兒童の遊び方に因つて分類して左の九種に別けられた。

遊び方分類、持つて遊ぶ玩具、飾つて遊ぶ玩具、鳴らして遊ぶ玩具動かして遊ぶ玩具、眞似して遊ぶ玩具、練習して遊ぶ玩具工夫して遊ぶ玩具、不思議な玩具、樂んぞ遊ぶ玩具勝負る具。

是は過日南英文庫の玩具展覽會以來、高島平三郎氏の採らるゝ分類で極めて新しい分類である。

従來、高島氏の著書には右様の分類を採られたこととなく、嘗て同氏が本會の心理講習會に於て講演演された時にも、矢張舊來の心理學的用語を用いたる分類であつたが、併し、玩具を實際に使用し實際に研究して行かうとするには斯る空論的學者めいた分類は何の役にも立たないことは幼児教育法に於て和田氏我輩の論せる所である。然るに高島氏が今一朝にして舊來の分類法を捨て、同氏の主張せる遊戯の上より見たる分類を玩具研究のみに採用されたる其果斷は誠に佩服の至である。玩具研究は是より一層實地に近いて來るに相違ない。斯くして實地に近いて來れば、彼「飛んで來

いなどの様なつまらぬ玩具を無上の玩具の様に  
寝め立てる空論は出なくなるに違いない。

次に玩具選擇の標準として次の様なものが書き  
出されて居つた。併し。是は素人おどかしで、何  
も知らぬ新聞屋などは用意周到至れり盡せりなど  
云つて居るけれど、決して左様のものではない。  
玩具には前にも種々な分類のある通り色々な種類  
がある。而して是等の種類の各のものは夫れ々々  
特種の性質本領を以て居るもので、従つて玩具の  
選擇と云ふものは其玩具々々に就いて其屬す可き  
種類の性質本領に照し其教育的價値の上よりして  
種々なる條件があるもので甲の玩具に備ふ可き條  
件としたことも乙の玩具に於ては却つて備へざる  
を可とする云ふ様な場合がいくらもあるもの  
で、此様な千遍一律何れの玩具にも共通の條件と  
云ふものは立つ可きものではないので、是は畢竟  
素人おどかしに過ぎないのである。

因に記す。「飛んで來い」の玩具は今より七八年前坪井博士が本  
會の總會とかに於て既に語されたものであるそうだが當時誰も  
あまり興味を持たなかつたものであるが、夫れが如何なる理由  
に因りてか、近頃三越に於て賣り出されたのであると會員の或

人より通信があつた。仍て本會の元老連に聞いて見た處が矢張  
左様であると話して居つた序でだから記して置く。

いや話が横に入つて飛んだ攻撃となつたが、併し、  
大體に於て何と云つても三越の仕事である。近來  
にない有益な展覽會であつたと思ふ。併し、茲に  
一つ遺憾なことがある。と云ふのは前にも記した  
通り此展覽會は三越の主催だけに即買せらるゝ展  
覽品が何れも貴族若くは富豪向きで平民的のもの  
は一寸もない。參考部の方を見ても矢張其通りで  
ある。年齢別分類、遊び方分類等も皆申譯に數種  
づゝの玩具を並べた丈で現在我國で盛んに賣られ  
て盛んに教育的効果を擧げつゝあるものとしては  
唯表の上多少の名前が見える丈で實物は少しもな  
い。是は此會の大なる缺點である。由來我國の玩  
具は價尊からざる三文玩具に於て大に教育價値  
あるものが尠くない。吾人玩具の實地的研究をす  
るものは下級玩具店若しくは縁日等に於て盛んに  
賣られつゝある玩具に就いて大に研究をする必要  
があるのである。三越呉服店の玩具研究會が此  
點に注意を向けないのは商賣としては當然であら

うが研究の公平を失して居るに違いないことである。文學士倉橋惣三氏の談話なりとて毎電の報ずる所に因つても次の様なことがある。(多少無關係の處もあるが第七項に注意して讀まれんことを)

### 大道玩具の改良

○嬰兒が何でも物を口に入れるのは、生れて直ぐ乳房を吸ふので、唇の感覚が最もよく發達して居るからである。故に此時代の玩具としてはおしやぶりがあつた。

○グロースといふ玩具學者は「大人が煙草を吸ふのも畢竟パイプを玩具にするのだ」と言つて居るが、成る程パイプは、嬰兒のおしやぶりに當る。

○おしやぶりの時代からがらに移つる。此がらからは有史以前からある玩具で、今日埃及の古墳を發掘すれば、貝殻を合はして中に砂を入れて造つたからがらが見出ださる。

○がらからは嬰兒の最も好むもの、之を握つて振れば鳴る。即ち握るといふ觸覚、音を聞くといふ聽覚形や色をおもしろがる視覚、此三者が凡て此一つの玩具に備はつて居るので、世界各國之れのない所はない。併し之が果して理想的のものであらうか、此上發達の餘地はないであらうか。

○近頃三越の玩具陳列會と云ひ、來春開かるべき農商會館の玩具展覽會と云ひ、玩具に對する研究の漸く盛んになりつゝあるのは、喜ばしい現象であるが併し所謂玩具改良論者の多くは、四五歳位の稍發達した子供を標準とするので、一二歳以下の嬰兒に持たすべき物に就て餘り注意を拂はないのは遺憾に堪へない。○故に子供の想像力や注意力、模倣性、智識等を養成すべき精巧なる玩具は出来るが、一二歳以下の感覚を養成すべき玩具は、矢張り

昔の儘である。

○又値段の高い立派な玩具に就ては、世人も注意するけれども、彼の大道具と稱する三四錢止まりの平民的玩具に對しては殆んど顧みざる者がない。而かも兒童教育の上から言へば、此大道具こそ、大なる影響を及ぼすもので、此方の改良が急務である。

○何故なれば玩具屋にある高價な玩具は必ず、父兄が選擇して貰ひ與へるから、害がないけれども、大道玩具は多くは子供が自身で買ふので、萬一夫が悪いものであると、意外の害を齎らすのである。

○殊に大道玩具には廢物利用のものが多く、縱令構造の上は何等の非難なしとするも、中には種々の惡感化を與ふるものがあるから私は益々此方の改良の必要を認める。誠にも尤もな注意で實地教育家の大に注意す可き所である。

## 子供と活動寫眞

文學士 倉橋惣三

△活動寫眞は善く使へば、子供の娛樂として至極上乘なものである。併し興業の活動寫眞に就ては悉く賛成と云ふ譯には行かぬ。而も子供は活動寫眞の名に誘はれて何でも彼でも見に行きたがる